

蝶の美しさのひみつ

入場無料



プログラム

名和 哲夫 名和昆虫博物館館長

「チョウから学ぶ自然 – 昆虫標本は自然からのメッセージ –」

H. Frederik Nijhout Professor, Duke University, USA

「The Development and Evolution of Butterfly Wing Patterns (チョウの翅の斑紋の発生と進化)」 ※同時通訳付き

小檜山 賢二 慶應義塾大学名誉教授

「マイクロプレゼンス – 自然と人間の架け橋 –」

2016.8.1(月) 13:30~

中部大学 不言実行館1階 アクティブホール

主催：中部大学 後援：日本進化学会 日本生態学会 形の科学会 日本数理生物学会 大幸財団

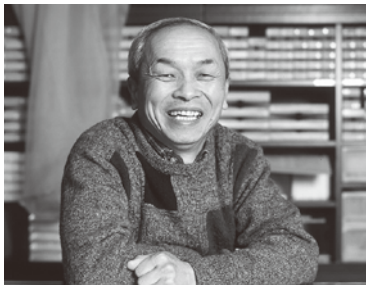
蝶の美しさのひみつ

藤岡知夫博士の「日本の蝶コレクション」が中部大学蝶類研究資料館へ移管されるのを記念して、蝶の魅力や、蝶から学ぶ自然の面白さを様々な角度から紐解いていきます。蝶や昆虫、生物や自然に興味のある方どなたでもご参加いただけます。

藤岡知夫「日本の蝶コレクション」

日本有数の蝶の収集家である藤岡知夫氏が集めたギフチョウ、シジミ蝶はじめ様々な種類の蝶の標本数は約22万頭にも上ります。採集年月日、場所等のデータが正確に残されていることで、地理的変異など学術的価値の高さも評価されています。平成27年9月に中部大学へ寄贈されました。

プログラム「日本の蝶コレクション」紹介 藤岡 知夫



講師

名和 哲夫

名和昆虫博物館館長

ギフチョウの発見者(命名者)である名和靖が作った名和昆虫博物館五代目館長。昆虫から学ぶ自然の美しさ、面白さ、不思議さについての啓蒙活動を幅広く展開中。



講師

H. Frederik Nijhout

Professor, Duke University, USA

H.フレデリック ナイハウ

アメリカ合衆国デューク大学教授

チョウの斑紋多様性と進化に関する世界的権威で第一人者。世界の蝶コレクションの利用価値やその理由について語る。※同時通訳付き



講師

小檜山 賢二

慶應義塾大学名誉教授

特殊な技術で小さな昆虫を撮影し、ビジュアル化する「マイクロプレゼンス」のプロジェクトに携わる。高精細撮影で見る個性豊かな昆虫の世界を通して、人と自然の関係性をとらえる手がかりにしたい。

チョウの斑紋多様性と進化についての研究最前線を知りたい方は下記の国際研究会へのご参加をお待ちしています
「チョウの斑紋多様性の理解に向けた統合的アプローチ」 ※講演は英語・通訳無し
中部大学不言実行館アクティブホール

8月2日(火)

9:00 ~ 15:00 招待講演者の研究発表

15:00 ~ 17:30 「日本の蝶コレクション」見学会

18:30 ~ 歓迎夕食会

8月3日(水)

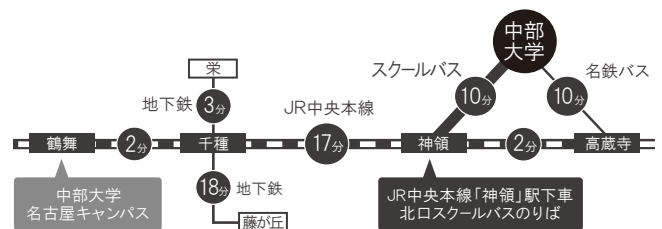
9:00 ~ 16:00 招待講演者の研究発表

[一般] 5,000円(抄録集代金を含む)、歓迎夕食会参加費 5,000円

[学生] 2,000円(抄録集代金を含む)、歓迎夕食会参加費 3,000円

詳細はホームページにてご確認ください

<http://www3.chubu.ac.jp/iabp2016/>



JR中央本線

神領駅下車 → 北口スクールバス乗り場 約10分 片道200円

高蔵寺駅下車 → 北口8番名鉄バス「中部大学」行き 約10分

東名高速道路 東名高速道路 春日井ICより約5分

※学内駐車場は正門の係員にお声掛けください

参加のお申し込み・お問い合わせ

メールまたはFAXにてご氏名、ご連絡先をお知らせください

国際研究会実行委員会事務局(中部大学内)

E-mail: iabp2016@office.chubu.ac.jp

FAX: 0568-51-4736 TEL: 0568-51-9959